

2026年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	運営管理	必修 選択	必修	年次	1	開講区分	2 Semester (後期)
学科・専攻	美容師科・全専攻	授業 形態	講義	単位 時間	1 30	曜日 時限	水 1・2・3
教員	諸岡 功明	【教員実務 経験】	大学院博士課程において、教育学を専攻したのち、本校のみならず様々な高等教育機関で実践を行いました。本校においては10年以上国家試験対策に従事しています				
【到達目標】	美容業における運営管理の重要性を理解し、公衆衛生の向上に寄与しようとする美容師になるために、国家試験合格に必要な知識を身につける						
【授業の学習内容】	国家試験の合格に必要な運営管理分野の正答率を8割以上にできます						
週	授業形態	授業計画・内容					小テスト・中間テスト・定期試験
1	登校	授業についての基本的な心構え、ルールを理解できる。当該教科における国家試験の頻出項目の概要を理解する。少子高齢化と美容業の現状について理解できる					
2	登校	少子高齢化と美容業の現状について、問題に正答できる					小テスト5点
3	登校	資金管理分野の①申告②税金分野の国家試験出題ポイントを理解できる					
4	登校	以下のポイントにつき、問題に正答できる。①資金管理②税金					小テスト5点
5	登校	社会保険制度について、医療保険、介護保険、後期高齢者、雇用保険、労災保険の違いを理解する					
6	登校	以下のポイントにつき、問題に正答できる。①保険の被保険者②給付③自己負担の割合					小テスト5点
7	登校	年金について、国民年金と厚生年金の差異を理解する					
8	登校	以下のポイントにつき、問題に正答できる。①年金の被保険者②給付③自己負担の割合					小テスト5点
9	登校	労務管理における労働者の権利及びその根拠法について理解し、その問題に正答できる					
10	登校	中間試験					中間試験20点
11	登校	中間テストで間違えたところを確認し、正しい知識を身につける					
12	登校	消費者保護の意義と仕組みにつき、理解する					
13	登校	関係法規分野と関連する、以下のポイントにつき理解する。①政金法②法の目的					
14	登校	期末試験					定期試験50点
15	登校	定期試験フィードバック・成績評価					小テスト10点
準備学習 時間外学習	準備: まとめのプリントを整理するファイルの用意 時間外学習: 授業のポイントを復習し、記憶する						
評価方法	●習熟度 : 定期50点 口頭試問、筆記式小テスト30点 中間テスト20点 ◇出席 : 別途規定(出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし)に基づきます ◇合否 : 60点以上で合格						
受講生への メッセージ	近年国家試験の教科になり、過去問などがほとんどありません。その分出题されるポイントは非常に狭く、そこを抑えれば短期間で高得点が狙えます。効率よく学ぶ必要があるため、自己学習よりも、授業でポイントを押さえますよう						
【使用教科書・教材・参考書】							
日本理容美容教育センター『運営管理』 適時講師が教科書のポイントをまとめた課題を用意します							